

# 平成30年度 市政経営の概要 《施策と予算》

基本計画に位置付けた各施策・事業の着実な推進

4つの重点プロジェクトと2つのアクションにより施策全体を効果的に展開

<4つの重点プロジェクト>



**重点プロジェクト1**  
「強いまち」をつくるプロジェクト  
これまでの防災対策の取組に加え、  
震災の対応や教訓を踏まえた  
災害に強いまち



**重点プロジェクト2**  
「安心して住み続けられるまち」  
をつくるプロジェクト  
福祉や子育て、教育などの面で、  
だれもが安心して  
住み続けられるまち

**重点プロジェクト4**  
「うるおいのあるまち」を  
つくるプロジェクト  
地域資源を生かした環境面等  
でうるおいを醸し出すまち



**重点プロジェクト3**  
「利便性が高く快適で  
豊かなまち」をつくるプロジェクト  
都市構造の変貌を機に、利便性と  
快適性を兼ね備えた  
にぎわいと交流のある豊かなまち



<2つのアクション>

**アクション1「横断的連携による施策の推進」**  
横断的に取り組むべき主要事業や課題に  
ついて、連携体制を構築し、課題解決に向けた取  
組を推進

**アクション2「調布のまちの魅力発信」**  
調布のまちが大きく変貌する機会を捉え、ソフト・ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進し、調布のまちの魅力を市内外に発信

<市政経営の2つの基本的考え方>

## 調布市

**参加と協働のまちづくり**  
～人と人がつながる市民が主役のまち～

**持続可能な市政経営**  
～質の高い行政サービスの提供～

# 平成30年度市政経営の概要《施策・予算》Contents

ページ

<b>I 市政の経営方針等</b>	<b>1</b>
1 平成30年度における市政の経営方針について	1
2 平成30年度予算編成方針について	1
<b>II 市政経営の重点</b>	<b>2</b>
1 4つの重点プロジェクト	2
(1) 強いまちをつくるプロジェクト	2
(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト	4
(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト	7
(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト	9
2 平成30年度予算(案)のその他の主な事業	10
3 市民生活支援等の継続的取組	11
4 子ども・子育て分野、福祉分野における継続的な課題等に対する取組の推進	12
5 調布市福祉3計画の推進	14
6 東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019に向けた取組の推進	16
7 公共施設等の総合的かつ計画的な管理(公共施設マネジメント)の推進	20
8 市政経営の2つの基本的な考え方	24
(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人とがつながる市民が主役のまち～	24
(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～	25
<b>III 予算(案)の概要</b>	<b>29</b>
1 市政経営を取り巻く状況	29
2 平成30年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程	30
3 予算規模	31
4 財政フレーム	32
<b>IV 一般会計の状況</b>	<b>34</b>
1 歳入歳出予算の状況	34
2 歳入予算の状況	36
(1) 市税	38
(2) 譲与税・交付金	42
(3) 市債	46
(4) 基金	48
(5) 使用料・手数料	52
(6) 国・都支出金	53
3 歳出予算の状況	54
(1) 目的別予算の状況	54
(2) 市民一人当たりの各目的別予算額	56
(3) 性質別予算の状況	57
(4) 主な予算科目等の状況	58
ア 民生費	58
参考 社会保障関係経費の推移	59
イ 土木費	61
ウ 教育費	62
エ 公債費	64
オ 繰出金(特別会計分)	65
カ 職員人件費	66
(5) 投資的経費	67
<b>V 主要事業概要</b>	<b>69</b>
<b>VI 財政規律ガイドラインから見た平成30年度見込み</b>	<b>112</b>
今後の取組	118
<b>VII 特別会計の状況</b>	<b>129</b>
1 国民健康保険事業特別会計	130
2 用地特別会計	132
3 下水道事業特別会計	135
4 介護保険事業特別会計	137
5 後期高齢者医療特別会計	139

## 強いまちをつくるプロジェクト

### 「地域の防災力を高める」

- ◆防災市民組織の育成
- ◆調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- ◆防災備蓄品の確保・充実
- ◆災害情報システムの維持管理・充実
- ◆消防水利の整備・維持管理
- ◆消防団の対応能力の向上
- ◆常備消防力の維持・向上
- ◆命の教育活動の推進



### 「強い都市基盤をつくる」

- ◆特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- ◆橋りょうの耐震改修
- ◆下水道施設の地震対策の推進
- ◆住宅の耐震化の促進



## 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

### 「高齢者や障害者の暮らしを支える」

- ◆地域包括支援センターの充実
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- ◆地域密着型サービスの整備
- ◆特別養護老人ホーム等の整備
- ◆福祉人材育成拠点の整備
- ◆障害者の就労支援



### 「子どもたちの健やかな成長を支える」

- ◆待機児童対策の推進
- ◆学童クラブ施設の整備
- ◆ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業
- ◆子ども・若者総合相談事業
- ◆小・中学校施設の整備
- ◆特別支援教育の推進

## 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

### 「21世紀の調布のまちの骨格をつくる」

- ◆駅前広場の整備
- ◆鉄道敷地の整備
- ◆都市計画道路の整備
- ◆調布駅周辺における市街地再開発事業の促進
- ◆自転車等駐車場の整備・有料化



### 「まちの活力を高める」

- ◆商店街活性化の推進
- ◆民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援
- ◆「映画のまち調布」の推進
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

## うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

### 「豊かな水と緑を大切に守り生かす」

- ◆公園・緑地、崖線樹林地の保全
- ◆公園・緑地等の整備
- ◆深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用



### 「良好な景観を創出する」

- ◆景観計画・景観条例の運用
- ◆深大寺地区におけるまちづくりの推進
- ◆公共サイン計画の検討・運用

## 本説明資料について

本概要は、平成30年度施策・予算(案)の内容を編集・整理し、できるだけ見やすく、わかりやすくを基本に作成しています。

◇数値は、各項目の百万円、表示単位未満四捨五入を基本としているため、合計値と合わない場合があります。

◇過去の推移は、原則的に当初予算額で表示しています。ただし、市債・基金は残高表示のため決算額を基本に、平成29年度は見込額で表示しています。

◇主要事業や重点プロジェクトの事業費は、各施策の括り方によって、事業費の差異がある場合があります。

<input checked="" type="checkbox"/> 資料編	141
1 市政の経営方針等	142
2 平成30年度予算編成過程等	163
3 基本計画事業の状況	169
4 平成30年度会計別予算の状況	203
5 テータ集(経年比較等データ)	218
6 財政用語の解説	233

# I 市政の経営方針等

平成 30 年度は、現行基本計画（平成 27 年度～平成 30 年度）の最終年次として、計画に位置付けた 4 つの重点プロジェクトを基軸に庁内の横断的連携と調布のまちの魅力発信の 2 つのアクションを実践しながら、施策全体を効果的に展開し、限られた経営資源の中で、各施策、事業の目標達成に向けた取組を推進していきます。

併せて、市政の第一の責務である市民の安全・安心の確保や市民生活支援を基調とした取組を継続するとともに、新生・調布のまちの骨格づくりを着実に前進させ、ソフト・ハードが一体となった魅力あふれる豊かなまちづくりを進めていきます。また、調布市公共施設等総合管理計画で示した基本的な考え方に基づき、インフラを含む公共施設の適切な維持保全、更新等への対応と今後の公共施設マネジメントに向けた取組を計画的に進めていきます。

こうしたこれまでの計画的な取組を継承しつつ、市政を取り巻く現状と課題を的確に捉え、次期基本計画（平成 31 年度～平成 34 年度）を策定し、平成 30 年代を展望した今後の施策・事業の方向を示していきます。

市の財政状況は、健全性を維持しているものの、今後も社会保障関係経費をはじめ、保育園の待機児童対策、公共施設のマネジメント、中心市街地の整備など大きな財政需要が見込まれています。また、国内の社会経済状況においては、景気は緩やかな回復基調が続いているところですが、今後の地域経済や市財政への波及効果は先行き不透明と言わざるを得ません。

こうした市政を取り巻く状況や市の財政状況について、全職員が共通認識を持って諸課題に適切に対処するとともに、引き続き財政の健全性の維持に努めながら、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向けた取組を推進していきます。

## 1 平成 30 年度における市政の経営方針について（平成 29 年 10 月 4 日付け市長通達）

### <平成 30 年度市政経営方針骨子>

- (1) 次期基本計画（平成 31 年度～平成 34 年度）の策定
- (2) 2 つの基本的考え方による市政経営の推進
  - ア 参加と協働のまちづくり
  - イ 持続可能な市政経営
- (3) 4 つの重点プロジェクト及び 2 つのアクションへの取組
  - ア 強いまち
  - イ 安心して住み続けられるまち
  - ウ 利便性が高く快適で豊かなまち
  - エ うるおいのあるまち
- (4) その他、横断的連携課題等への取組
  - ・新たな課題については、次期基本計画を見据えた取組の方向性を検討する中で、組織横断的な連携、創意工夫の下、課題解決に取り組む
  - ・マイナンバー制度、空家等対策、受動喫煙対策、基金の活用 など

## 2 平成 30 年度予算編成方針について（平成 29 年 10 月 4 日付け行政経営部長通知）

### <平成 30 年度予算編成における基本姿勢>

- (1) 基本計画最終年次として、4 つの重点プロジェクトを基軸とした各施策の着実な推進と、市民の安全安心の確保や市民生活支援への継続的な取組
- (2) 次期基本計画期間も見据え、様々な財政需要が山積する中、全ての事業において、優先度、内容の厳しい精査と、あらゆる角度からの歳入確保、経費縮減への取組
- (3) 財政の健全性維持に向けた、継続的な財政構造の改善と中長期を見据えた計画的な財政基盤強化への取組

## Ⅱ 市政経営の重点

### 1 4つの重点プロジェクト

\*事業費は原則として100万円未満を四捨五入しています。



計画に位置付けている4つの重点(「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」)により重点プロジェクト事業を推進します。

#### (1) 強いまちをつくるプロジェクト

##### ◆ 地域の防災力を高める

自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりを推進し、地域の防災力の向上を図ります。

##### ◆ 強い都市基盤をつくる

特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進や橋りょう・下水道の耐震化の推進により、市民の安全を守り、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりを進めます。

#### ◆ 地域の防災力を高める

##### 【平成30年度の主な取組】

##### ◇ 防災市民組織の育成(基本計画事業No.1) <総務部> 400万円

防災に関する各種講演会や出前講座などの実施や、防災備蓄品の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。

##### ◇ 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進(基本計画事業No.2) <福祉健康部> 500万円

災害時における避難行動要支援者(災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等)の避難支援プランに基づき、対象者の名簿を整備し、消防、警察、民生委員・児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの力を発揮できる体制の整備を進めます。引き続き、避難支援プランの推進のため、新規の協定締結団体に対し、補助を実施します。

##### ◇ 防災備蓄品の確保・充実(基本計画事業No.3) <総務部> 5,400万円

地域防災計画に則した防災備蓄品の確保・充実に努めます。引き続き、小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進めるため、平成30年度は、小学校3校(設置校は未定)にコンテナを設置するとともに、避難所運営に資するためのマンホールトイレや非常用小型発電機等の確保・充実に努めます。

##### ◇ 災害情報システムの維持管理・充実(基本計画事業No.4) <総務部> ※拡充 2億5,100万円

地震や風水害などの災害情報を提供する市民向けメールシステムや、防災フリーダイヤルの運用を行うとともに、災害時の情報提供・通信システムの確保に取り組みます。

また、平成29年度から防災行政無線のデジタル化を進めており、平成30年度は、引き続き移動系の整備を行うとともに、固定系の整備を開始します。

##### ◇ 消防水利の整備・維持管理(基本計画事業No.9) <総務部> 1億900万円

災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、防火貯水槽を整備し、災害時の対応能力の維持・向上を図ります。また、消火栓の新設・維持管理を行います。

◇ **消防団の対応能力の向上（基本計画事業 No.10）＜総務部＞** **2,700万円**

火災・災害時における対応能力を向上するため、消防団のポンプ車を更新するとともに、安全性・機能性を向上するための装備・資機材の充実・強化を図ります。

◇消防団ポンプ車更新（1台：第8分団）

◇ **常備消防力の維持・向上（基本計画事業 No.11）＜総務部＞** **1,600万円**

東京消防庁と連携・協力し、常備消防力の維持・向上を図るため、調布消防署本署の建替えを進めます。

◇ **命の教育活動の推進（基本計画事業 No.28）＜教育部＞** **400万円**

児童・生徒に対する「命」の授業や、防災に関する保護者・地域対象の講話、訓練等を実施する「調布市防災教育の日」の取組を市立小・中学校全校一斉で実施します。また、普通救命講習を小学校6年生・中学校3年生に実施するとともに、市立小・中学校全教員の上級救命講習の認定を目指します。さらに、各校2人程度の応急手当普及員を育成します。

◇平成30年度「調布市防災教育の日」 平成30年4月28日（土）



◆ **強い都市基盤をつくる**

【平成30年度の主な取組】

◇ **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業（基本計画事業 No.6）＜都市整備部＞** **2億5,600万円**

震災時の復旧・復興の際、物流の大動脈となる特定緊急輸送道路が沿道の建築物の倒壊により閉塞しないよう、補強設計、耐震改修、建替え及び除却に要する費用の一部を補助し、沿道建築物の耐震化を促進します。

◇ **橋りょうの耐震改修（基本計画事業 No.7）＜都市整備部＞ ※拡充** **3億5,200万円**

緊急時の物流経路を確保するため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的な耐震補強・補修工事を進めるとともに、平成30年度は、計画の見直しを図ります。また、スタジアム前歩道橋の補修工事を実施するとともに、品川通り歩道橋（2箇所）の撤去を行います。

◇橋りょう長寿命化修繕計画の策定

◇橋りょう補修設計：日向橋ほか3橋

◇橋りょう耐震補強・補修工事：明照院橋ほか5橋

◇スタジアム前歩道橋の補修工事（～平成31年度）

◇品川通り歩道橋の撤去（2箇所）

◇ **下水道施設の地震対策の推進（基本計画事業 No.8）＜環境部＞** **1,300万円**

下水道総合計画に基づき、下水道施設の地震対策の推進に取り組みます。平成30年度は、市内幹線における耐震化に係る優先度を選定するなど、基礎調査を行います。

◇ **住宅の耐震化の促進（基本計画事業 No.86）＜都市整備部＞** **4,000万円**

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者及び分譲マンションの管理組合等に対して、耐震診断、改修等に係る費用の一部助成を実施するとともに、耐震に係る相談会や建築士等の専門家（耐震アドバイザー）の派遣、木造住宅及び分譲マンションへの専門家の個別訪問事業など、耐震意識の普及・啓発を行い、災害に強い住環境づくりに取り組みます。



## (2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

### ◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

安心して子どもを産み育てられ、次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育つ環境づくりを進めます。

### ◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実を図ります。

### ◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

#### 【平成30年度の主な取組】

#### ◇ 待機児童対策の推進（基本計画事業 No.21）＜子ども生活部＞ ※拡充 **4億6,300万円**

保育園待機児童対策として、基本計画及び子ども・子育て支援事業計画（調布っ子すこやかプラン）に基づき、認可保育園等の誘致・整備を行い、計画的に定員拡大に取り組みます。平成30年度においては、認可保育園1園の開設と、認証保育所1箇所の認可化に向けて取り組むとともに、緊急的な待機児童対策として新設及び開設2年目となる認可保育園の空きスペースを活用し、1・2歳児を1年間限定で受け入れる年度限定型保育事業を実施します。

#### ◇ 学童クラブ施設の整備（基本計画事業 No.22）＜子ども生活部＞ **1億1,800万円**

学童クラブとユーフォーの利用状況を把握しながら、児童の適切な育成環境を確保するため、条例で定めた基準を踏まえ、基本計画及び子ども・子育て支援事業計画（調布っ子すこやかプラン）に基づき、学童クラブの施設整備を計画的に進めるとともに、既存の学童クラブでは受入れが困難な障害児が利用できる学童クラブの整備に向けた準備を着実に進めます。

#### ◇ ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業（基本計画事業 No.19）＜子ども生活部＞ ※拡充 **2,600万円**

子どもの貧困の連鎖防止に向け、困難を抱える子ども・若者の総合相談や生活困窮者世帯の子どもを対象とした学習支援等と連動し、ひとり親世帯の子どもを対象に学習支援や相談支援を実施します。平成30年度は、増加する学習支援のニーズに対応するため、支援体制の充実を図ります。

また、ひとり親家庭の親及びその子どもが高等学校卒業程度認定試験合格を目指す場合に、民間事業者が実施する認定試験対策講座の受講費用の一部を助成する支援事業を開始します。併せて、子ども・若者総合支援事業「ここあ」において、認定試験合格を目指すひとり親への学習支援を開始します。

#### ◇ 子ども・若者総合相談事業（基本計画事業 No.31）＜子ども生活部＞ ※拡充 **2,100万円**

15歳以上の不登校、無職、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者を対象に計画的な支援を行うことを目的に、相談体制を確立するとともに、子ども・若者の居場所を確保するなどの支援を行います。平成30年度は、相談支援体制の充実を図ります。

また、平成29年度に設置した「調布市子ども・若者支援地域協議会」において、地域の支援団体や関係機関等との連携を図りながら、子ども・若者の実情に応じた支援を行います。

## ◇ 特別支援教育の推進（基本計画事業 No.26）＜教育部＞

5,400万円

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等の課題のある児童・生徒に対し、教員の巡回指導や専門家チームによる巡回相談、スクールサポーターの小・中学校全校配置等により、個々に応じた教育支援を行います。

また、平成30年度は、中学校において特別支援教室の拠点校1校、巡回校2校を新たに設置し、巡回指導を試行的に実施します。

## ◇ 小・中学校施設の整備（基本計画事業 No.29）＜教育部＞

23億1,700万円

児童・生徒が良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校施設の計画的な維持・保全を実施し、施設の老朽化対策を推進するとともに、児童・生徒数の増加に伴う学校施設の整備や給食室の改修及び設計を行います。

また、非構造部材の耐震化や避難所としての防災機能の向上を図るとともに、学習環境の改善として特別教室の空調整備や校庭の芝生化に取り組みます。

さらに、平成30年度は、平成27年度から実施している校舎の構造体の耐久性調査の結果を踏まえ、学校施設の整備方針を策定します。

- ◇児童・生徒数の増加に伴う施設整備：普通教室改修工事1校（若葉小）  
校舎増築工事1校（神代中：H29～30年度）  
旧体育館解体工事1校（五中）
- ◇学校施設の維持保全：給食室改修工事設計（アレルギー対策含む）（緑ヶ丘小）  
給食室改修工事（アレルギー対策含む）（若葉小）  
プール整備工事1校（布田小）  
受変電設備改修工事2校（神中、八中）
- ◇非構造部材の耐震対策：校舎外壁改修工事5校（滝坂小、多摩川小、杉森小、飛田給小、調布中）  
屋上防水改修工事1校（飛田給小）  
体育館外壁等改修工事1校（柏野小）  
体育館内部改修設計4校（北ノ台小、国領小、布田小、六中）  
体育館内部改修工事1校（深大寺小）
- ◇学習環境の改善：校庭芝生化1校（柏野小）  
特別教室空調整備 小学校6校、中学校4校（平成30年度で全ての学校で完了）
- ◇避難所機能向上（マンホールトイレ、バリアフリー、非常電源用設備など）：工事3校  
（上ノ原小、柏野小、六中）
- ◇その他：外構撤去・新設工事設計2校（上ノ原小、神代中）
- ◇学校施設整備方針策定



## ◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

### 【平成30年度の主な取組】

#### ◇ 地域包括支援センターの充実（基本計画事業 No.35）＜福祉健康部＞ 3億2,300万円

市内10箇所の地域包括支援センターを核として、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域ケア会議等による地域ケア体制の構築に取り組むとともに、多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。

また、各地域包括支援センターに配置した専門職により、引き続き、在宅医療・介護連携事業及び認知症総合支援事業に取り組みます。

#### ◇ 介護予防・日常生活支援総合事業の展開（基本計画事業 No.37）＜福祉健康部＞ 5億8,700万円

平成28年10月から移行した介護予防・日常生活支援総合事業において、引き続き、介護予防の普及啓発事業やフォローアップ事業に取り組むほか、地域での介護予防の継続的な取組を支援します。また、地域福祉コーディネーターとの連携のもと、地域支え合い推進員の活動の充実を図り、地域での支え合いの体制整備を図ります。

このほか、福祉人材育成センターを引き続き活用し、新たな生活支援サービスの担い手の養成を推進します。

#### ◇ 地域密着型サービスの整備（基本計画事業 No.38）＜福祉健康部＞ 600万円

第7期介護保険事業計画に基づき、認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援する「地域密着型サービス」の整備を推進します。

平成30年度は、小規模多機能型居宅介護1箇所の開設支援を行います。

#### ◇ 特別養護老人ホーム等の整備（基本計画事業 No.39）＜福祉健康部＞ 6,300万円

引き続き、特別養護老人ホーム等の建設費等の一部を助成することで、整備計画を推進し、要介護高齢者の安定した生活を確保します。

#### ◇ 福祉人材育成拠点の整備（基本計画事業 No.34）＜福祉健康部＞ ※拡充 2,000万円

専門性を備えた福祉人材の確保及び地域の福祉人材の育成を総合的に推進するため、平成27年度に開設した福祉人材育成センターを活用した福祉人材育成事業を推進し、新たなサービスの担い手の養成や、将来にわたって福祉・介護ニーズに的確に対応するための人材の確保と質の向上を図ります。

平成30年度は医療的ケアに対応する人材育成も行います。

#### ◇ 障害者の就労支援（基本計画事業 No.42）＜福祉健康部＞ 6,100万円

平成29年2月に移転したちょうふだそう及びこころの健康支援センターにおいて、障害者が一般就労し、安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面及び生活面の支援を一体的に行い、障害者の就労の促進を図り、障害者の自立と社会参加を促進します。



### (3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

#### ◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地の形成を図ります。

#### ◆ まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりを進めるとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図ります。

#### ◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

【平成30年度の主な取組】

##### ◇ 駅前広場の整備（基本計画事業 No.80）＜都市整備部＞ ※拡充

25億4,700万円

京王線地下化に連動した南北一体の街づくりを推進し、中心市街地の交通結節機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備します。

平成30年度は、調布駅前広場について、北側のロータリー（西側）のほか、段階的に上屋の整備を進めるとともに、駅前広場の用地取得を行います。



##### ◇ 鉄道敷地の整備（基本計画事業 No.81）＜都市整備部＞ ※拡充

7億8,000万円

京王線の地下化により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、市民交流やにぎわいの創出など、各ゾーンの特性を生かしながら鉄道敷地の整備を推進します。

平成30年度は、都市公園の設計等のほか、緑道の測量、設計、用地取得に計画的に取り組んでいきます。

##### ◇ 都市計画道路の整備（基本計画事業 No.89）＜都市整備部＞

15億8,600万円

中心市街地における、道路網の構築と歩行者の回遊性向上を図るため、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の用地取得・設計・工事を進めます。調布3・4・26号線については旧甲州街道～甲州街道の区間で設計、工事を進めるとともに、布田駅～旧甲州街道の区間で用地取得、設計を進めます。

また、調布3・4・21号線（つつじヶ丘駅南口）の事業化を図り、段階的に用地取得を進めます。

##### ◇ 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進（基本計画事業 No.82）＜都市整備部＞

6億100万円

魅力ある商業・業務・住宅施設等の整備とともに、都市計画道路等の公共施設整備により、駅周辺にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活力のある市街地を形成します。

平成30年度は、平成29年度に事業完了した調布駅北第1地区に関連する道路の用地取得及び整備を進めます。

##### ◇ 自転車等駐車場の整備・有料化（基本計画事業 No.94）＜都市整備部＞

3億1,200万円

調布市自転車等対策実施計画に基づき、自転車等駐車場の整備・有料化を図りながら、計画に位置付けた恒久的な自転車等駐車場の収容台数の確保を進めます。

平成30年度は、調布駅前広場との調和を図った設計変更の内容を踏まえ、調布駅南地下自転車駐車場整備を進めます。

## ◆ まちの活力を高める

### 【平成 30 年度の主な取組】

#### ◇ 商店街活性化の推進（基本計画事業 No.62）＜生活文化スポーツ部＞ ※拡充 **4,300万円**

市内全域の商業活性化に向け、調布市商工会、市内事業者、商店会と連携し、買物環境の整備や商店会が実施するイベント事業等の支援などを通じて、商店会や個店の魅力向上やにぎわい創出を推進するほか、商店街の施設整備を支援するため、老朽化した街路灯ランプの維持・撤去費用やLED化、電気料金の一部を助成することで、商店会の負担軽減を図ります。

また、中心市街地の商店会や大型商業施設と連携した事業や大型商業施設の開業による影響を把握するための調布駅周辺の来街者動向調査及び調布駅前広場の利活用に関する検討を進めます。

#### ◇ 民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援（基本計画事業 No.64）＜生活文化スポーツ部＞ **100万円**

多摩信用金庫をはじめとする複数の金融機関と締結した「中小企業等支援に関する包括協定」に基づき、創業、事業承継、経営支援、中小企業事業資金融資支援などで連携しながら、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催し、市内事業者を支援します。

#### ◇ 「映画のまち調布」の推進（基本計画事業 No.66）＜生活文化スポーツ部＞ **1,300万円**

市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくるまち」、「楽しむまち」、「学ぶまち」をテーマに、市民・団体等が実施する映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた調布市独自の事業を展開し、広く市民に「映画」に親んでもらうとともに、多摩地域の他自治体と連携したフィルムコミッション（撮影支援）を核とした魅力向上・発信事業の取組を展開し、地域の活性化を図ります。

また、昨年開業したシネマコンプレックスのプレアド（映画上映前の広告）を活用したPR事業や、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチャラ」を活用した事業、「映画のまち調布シネマフェスティバル」（旧調布映画祭）における展示事業などにおいて「映画のまち調布」ならではの取組を展開します。



#### ◇ オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（基本計画事業 No.57）＜生活文化スポーツ部＞ **600万円**

調布市が開催地となるラグビーワールドカップ2019や東京2020大会に向けた機運醸成を図るため、国や都、近隣市や関係団体と連携し、オリンピックを招いた交流事業や小学生ラグビー大会、陸上体験教室などの開催に取り組むとともに、スポーツボランティアの育成にも取り組みます。また、障害者スポーツ情報の積極的な広報活動や障害の有無に関わらず参加できる障害者スポーツ体験イベント等を開催するなど、障害者スポーツの普及にも取り組みます。



#### 【調布市で実施される競技等】

##### ◆東京2020オリンピック競技大会（2020.7.24～8.9）

- ＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞
  - ・近代五種（水泳・馬術・レーザーラン・フェンシング ボーナストラウンド）
  - ・7人制ラグビー
  - ・サッカー

##### ＜武蔵野の森総合スポーツプラザ＞

- ・近代五種（フェンシング ランキングラウンド）
- ・バドミントン

##### ＜武蔵野の森公園＞

- ・自転車（ロードレース）【スタート会場】

##### ◆東京2020パラリンピック競技大会（2020.8.25～9.6）

- ＜武蔵野の森総合スポーツプラザ＞
  - ・車いすバスケットボール

##### ◆ラグビーワールドカップ2019（2019.9.20～11.2）

- ＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞
  - ・開会式
  - ・開幕戦、3位決定戦を含む計8試合



＜武蔵野の森総合スポーツプラザ＞  
（平成29年11月開業）

## (4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

### ◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境を守り育て、うるおいのあるまちを継承します。

### ◆ 良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組を推進します。

### ◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

#### 【平成30年度の主な取組】

#### ◇ 公園・緑地、崖線樹林地の保全（基本計画事業 No.97）＜環境部＞ ※拡充 2億6,200万円

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより、協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全で安心して公遊園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全を行います。

平成30年度は、公園施設長寿命化計画に基づく公遊園の改修工事及び次期計画の策定、入間町2丁目緑地の保全管理のための施設整備のほか、仙川崖線緑地及び国分寺崖線（若葉町）の公有化を行います。

#### ◇ 公園・緑地等の整備（基本計画事業 No.98）＜環境部＞ ※拡充 6,300万円

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、新たな公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。

平成30年度は、鉄道敷地において2箇所（相模原線、西側端部）の公園の設計等に取り組むほか、平成29年度に策定した公園・緑地機能再編整備プランに基づき、多摩川市民広場の整備を行います。

#### ◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用（基本計画事業 No.99）＜環境部＞ ※拡充 400万円

平成25年度策定の「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、地域の環境資源の保全・活用に向けた取組を進めます。

平成30年度は、農業・農地を活かしたまちづくり事業を活用し整備した「調布市佐須農の家」の運営・活用を行いながら、引き続き、農業従事者等と意見交換を行うとともに、今後の支援事業を検討します。

また、平成29年度に公社取得した用地（深大寺南町2丁目）について、「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、維持管理・暫定利用を図っていきます。

### ◆ 良好な景観を創出する

#### 【平成30年度の主な取組】

#### ◇ 景観計画・景観条例の運用（基本計画事業 No.78）＜都市整備部＞ 500万円

地域の特性を生かした魅力ある景観まちづくりに向け、景観条例・景観計画の適正な運用に取り組みます。

平成30年度は、引き続き景観形成ガイドラインの策定に向けた検討を行うとともに、景観形成重点地区等での現況調査を行い、景観形成基準等の見直しに向けた検討を行います。

#### ◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進（基本計画事業 No.85）＜都市整備部＞ 7,700万円

深大寺地区の風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺通り街づくり協議会と連携し、街なみ環境整備事業を推進します。

平成30年度は、街なみ整備助成を実施するとともに、市道北136号線ほかの遊歩道・散策路整備を行います。

#### ◇ 公共サイン計画の検討・運用（基本計画事業 No.79）＜都市整備部＞ 400万円

調布市公共サイン整備方針に基づき、多言語対応も含め、だれにも分かりやすい公共サイン整備に向けた検討を行うとともに、2019年・2020年を見据えた競技会場周辺等での案内・誘導サインを整備します。

## 2 平成30年度予算(案)のその他の主な事業

★は新規事業 ☆は拡充事業

- ・防犯対策の推進（安全・安心パトロールの実施，自動通話録音機の貸出し等）
- ★2歳児に対する幼稚園園児保護者負担軽減補助の実施
- ☆市内幼稚園の一時預かり事業の充実
- ☆養育支援訪問事業の充実
- ★教育プラン・教育大綱の改定
- ☆新学習指導要領への対応（ICT教育の推進，小学校における外国語教育の充実）
- ☆不登校の生徒に対する支援の充実（七中相談学級を不登校特例校分教室型へ移行）
- ☆就学援助制度の充実（新小学校1年生に対する新入学学用品費の前倒し支給）
- ☆食物アレルギー対策の着実な推進  
（給食室改修設計委託及び給食室改修工事（小学校各1校））
- ☆通学路の安全確保の推進（防犯カメラの増設，各小学校2台）
- ☆地域福祉コーディネーターの配置（2人増配置，計6人）
- ☆認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築（認知症初期集中支援事業）
- ★医療的ケアを要する障害児（者）への支援体制整備  
（障害児（者）医療的ケア体制支援事業，重症心身障害児（者）在宅レスパイト事業）
- ★障害者総合支援法及び児童福祉法の改正により新設される自立支援に向けた各種サービスの提供  
（就労定着支援事業，自立生活援助事業，居宅訪問型児童発達支援事業）
- ☆産後ケア事業の充実
- ★おたふくかぜ予防接種事業
- ☆受動喫煙防止対策に関する取組
- ・水木しげる氏関連事業の推進と図書資料の充実
- ★菊野台地域福祉センターの老朽化対策
- ☆FC東京創設20周年を契機とした連携事業
- ☆電気通信大学創立100周年を記念した相互友好協力協定による連携事業
- ★ICTを活用した多言語対応による観光振興・地域経済活性化
- ・都市農業活性化支援事業補助の活用
- ☆都市農業育成対策事業の充実
- ★都市農地保全支援プロジェクト事業補助の活用
- ☆下布田遺跡保存活用計画策定
- ・柴崎駅周辺における交通環境の改善に向けた検討
- ☆飛田給駅周辺における歩行者の安全確保に向けた取組（踏切対策）
- ★飛田給公共通路の補修工事
- ☆計画的な街路灯のLED化推進に向けた検討
- ・空き家対策の検討
- ☆花いっぱい運動の取組推進（大規模イベントに向けたおもてなし）
- ・クリーンセンター機能の再編・移転に向けた取組（工事・試験稼働）
- ・クリーンセンター跡地活用に関する取組（PPP事業の推進）
- ☆2019，2020年を見据えた公衆トイレ改修工事（飛田給，つつじヶ丘，深大寺）
- ☆市庁舎の免震改修事業の推進（工事）
- ・税総合システムの更新に向けた取組
- ☆マイナンバー制度の適切な運用，住民票・印鑑証明のコンビニ交付導入
- ★市税の新たな納付方法導入準備（マルチペイメントネットワークの活用）
- ★働き方改革の推進に向けた取組（テレワークの試行実施）

### 3 市民生活支援等の継続的取組

市政の第一の責務として市民生活を支援し、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに継続して取り組みます。

#### 平成30年度の主な取組

☆は拡充事業 ・は継続事業

#### ●市民の負担軽減策

市民の経済的な負担を軽減する取組を継続して実施します。

##### 《子育て、教育に関する負担軽減》

- ・認証保育所等保育料の保護者負担軽減

☆幼稚園児の保護者負担軽減（うち平成30年度から2歳児に対する保護者負担軽減補助を新規に実施）

- ・乳幼児・義務教育就学児医療費助成の実施
- ・ベビーシッター利用料助成等の実施

☆就学援助費，特別支援教育就学奨励費の支給

（うち新小学校1年生に対する新入学学用品費の前倒し支給を新規に実施）

- ・小・中学校給食費の保護者負担軽減

##### 《その他の負担軽減策》

☆予防接種費用の負担軽減（うち平成30年度からおたふくかぜの予防接種を新規に実施）

- ・住宅確保要配慮者の居住支援（仲介支援補助金，家賃等債務保証支援助成金）
- ・中小企業事業資金融資あっせん制度の事業者負担軽減（信用保証料，利子負担の軽減）

#### ●きめ細かな相談支援

市民一人一人のニーズに応じたきめ細かな相談業務を継続して実施します。

##### 《妊娠・出産・子育て等に関する相談等事業》

- ・ゆりかご調布事業の実施

☆産後ケア事業の充実

☆児童館子育てひろば事業の充実

- ・母子・父子自立支援員による相談
- ・子ども家庭支援センターすこやか相談事業の実施

- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業の実施

☆養育支援訪問事業の充実

- ・子どもの相談室，子ども歯科相談室の実施
- ・児童館子育てひろばにおける助産師相談事業の実施
- ・保育コンシェルジュの配置

##### 《その他の相談等事業》

☆子ども・若者総合支援事業（ここあ）の実施

- ・生活困窮者自立支援事業（調布ライフサポート）の実施

- ・地域包括支援センターによる相談事業の実施

- ・障害者相談員による相談事業の実施

- ・女性のための相談事業の実施（生き方・法律・ヘルスケア・仕事&生活サポート相談）

- ・ステップアップホーム事業の実施

☆地域福祉コーディネーターの配置の拡充

- ・高齢福祉相談事業の実施

- ・子ども発達センターによる相談事業の実施

#### ●雇用機会の確保・就労に向けた支援

東京都の補助金を活用した雇用確保等の取組や様々な年齢層等を対象とした就労支援を実施します。

- ・ハローワークと連携したちょうふ就職サポートによる生活保護世帯等への就労支援

- ・調布国領しごと情報広場（マザーズコーナー含む）による就労支援

- ・ちょうふ若者サポートステーションによる働くことに悩みを抱えている若者の職業的自立に向けた支援

☆福祉人材育成支援事業の実施

- ・障害者就労支援の実施

- ・創業チャレンジ支援事業の実施

- ・東京都人づくり人材確保支援事業を活用した雇用機会の確保及び就労支援